

## 研究に関するお知らせ

— 造影剤を使用した心臓 CT 検査を受けられた患者さんへ —

奈良県立医科大学附属病院では、画像診断のさらなる発展のため、検査結果の画像や所見を後日研究目的で使用する場合があります。このような研究は倫理委員会の審査を受け、承認された後に関連の研究倫理指針に従って実施されます。

研究参加期間: 倫理委員会審査承認後 ~ 2016 年 6 月 30 日

**【研究課題】** 日常診療下における心臓 CT の被曝線量に関する調査研究

**【研究目的】** 日常診療下で心臓 CT 検査が実施された患者を対象に、CT 検査による被曝線量を調査し、心臓 CT 検査における被曝線量の実態を明らかにし、被曝線量のばらつきに影響する因子を検査目的別に明らかにすることを目的とした研究です。

**【研究意義】** 上記の研究目的を達成することにより、将来的に心臓 CT の撮影方法がより良く発展し、より安全かつ有用な検査に貢献すると考えられます。

**【対象・研究方法】** 対象となる患者さんは、2013 年 1 月 1 日から 12 月 31 日の間に造影剤を使用した心臓 CT 検査を受けられた患者さんです。対象となる患者さんのカルテなどの診療情報から、患者さんの性別や年齢、CT 検査の方法を調べて、検査によって受けた被ばく線量をたくさんの患者さんで評価します。また、被ばく線量の大小と患者さんの背景情報や CT 検査の方法との関連を評価します。研究全体として 3,000 名の患者さんの検査情報収集を予定しており、当院では 60 名の患者さんの検査情報を本研究のために収集させていただき予定です。

**【研究機関名】** 奈良県立医科大学附属病院、愛媛大学医学部附属病院 他(全国約 50 施設にて実施)

**【個人情報の取り扱い】** 収集した情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる個人情報を除いて匿名化いたしますので、個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

**【その他】** この研究のために、患者さんに新たな検査や費用が追加されることは一切ありません。また、研究の対象となる患者さんに謝金はありません。

この研究によって得られた知的財産の所有権は研究組織および研究者に属します。

この研究はバイエル薬品株式会社より、臨床研究契約に基づく資金提供を受けて実施されます。

上記期間中に造影剤を使用した心臓 CT 検査を受けられた患者さんで、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願ひ申し上げます。

### 問 い 合 わ せ 先

研究責任者: 吉川 公彦 奈良県立医科大学附属病院 放射線科 教授

研究担当者: 三浦 幸子 奈良県立医科大学附属病院 放射線科 助教

丸上 永晃 奈良県立医科大学附属病院 中央内視鏡・超音波部 講師

住所: 奈良県橿原市四条町 840 TEL: 0744-29-8900